

オプトアウト

研究課題名	不安定型大腿骨転子部骨折における髓内釘の生物力学的最適な長さの検討：有限要素解析
研究実施機関名および研究責任者 (所属科、職名等)	さいたま赤十字病院 整形外科 医長 田 翔太
研究代表施設 および代表研究者	さいたま赤十字病院 整形外科 医長 田 翔太
研究期間	承認後～2028年05月01日
研究の目的と意義	不安定型大腿骨転子部骨折における手術では髓内釘を用いることが一般的であるが、最適な髓内釘の長さのコンセンサスが得られていない。このため、実際のインプラントデータおよび大腿骨CTデータからボーンモデルをコンピューター上で作成、有限要素解析を行い、最適な髓内釘の長さを評価検討する。本研究は、将来的に骨折型に合わせたインプラント選択の参考基準となりうる意義がある。
本研究の対象となる方	2022年05月01日から2025年05月01日の期間で、当院の整形外科を受診され、大腿骨転子部骨折の手術をされた方
提供していただく情報	60～90歳までの大腿骨転子部骨折を受傷した女性の大腿骨CTデータ4例
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究 髓内釘インプラントデータおよび大腿骨CTデータから骨折モデルを作成し、有限要素解析を用いて荷重時の骨折部の転位傾向、インプラントや骨にかかるストレスを評価する。
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先 (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院整形外科 医長 氏名：田 翔太 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5 電話：048-852-1111（内線番号：41148）